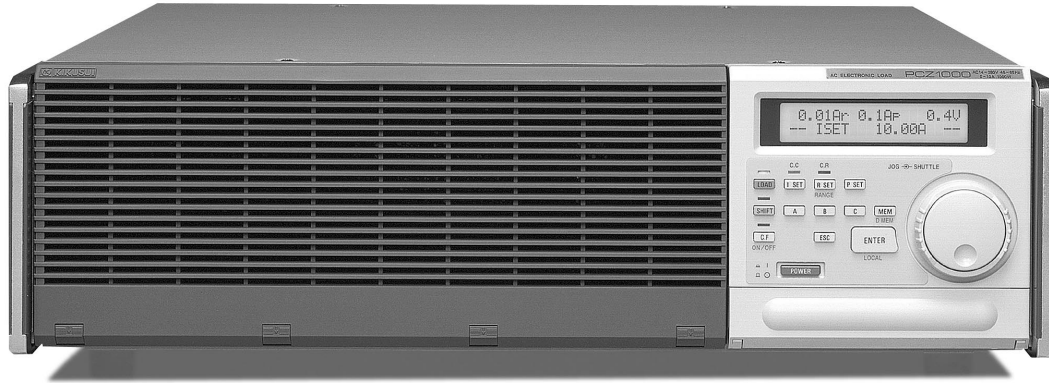


無停電電源インバータ／太陽光発電用インバータ  
 ／トランスの負荷試験に  
 定電流・定抵抗・定電力モードに対応  
 クレストファクタ機能搭載  
 最大入力負荷電力1000W



概要

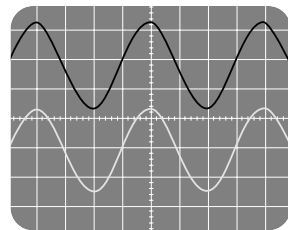
PCZ1000は、無停電電源をはじめ、各種インバータおよびトランスの負荷シミュレーションを可能とした交流電子負荷装置です。通常試験に用いられる抵抗負荷に加え、現在主流となっているコンデンサ入力型整流負荷の模擬試験にも対応します。

1000Wまでの入力に対応し、定電流／定抵抗／定電力の3モードを装備。各モードとも電圧波形に影響されず、常に正弦波に近い電流波形を流します。さらにはスイッチング電源等の疑似電流負荷試験に最適なクレストファクタ機能を搭載しています。また、CPU制御により操作性の向上をはかり、またRS-232Cによる外部制御とリードバックも可能としています。

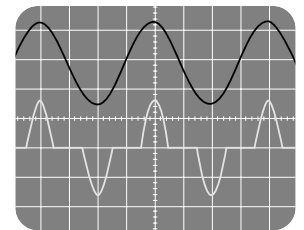
特長

■ クレストファクタ機能

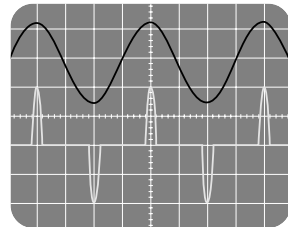
ピーク電流や高調波電流の負荷試験が容易に行えるクレストファクタ機能により、被試験機器の品質向上と作業省力化が図れます。クレストファクタ値は、1.4～4.0まで設定できます。



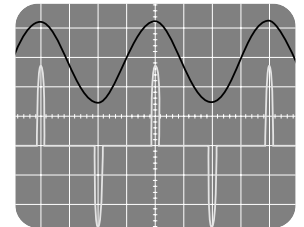
▲C.F設定値1.4



▲C.F設定値2.0



▲C.F設定値3.0



▲C.F設定値4.0

■ 簡単操作

主要機能については、「ONEキーONE機能」で迅速に設定・操作ができ、微細な設定はジョグ・シャトルで簡単に入力することができます。

■ 見やすいバックライト付き液晶ディスプレイ

表示パネルにはLEDバックライト付きの液晶ディスプレイ(LCD)を採用し、各種の操作、試験情報の表示が周囲の明るさに影響されずに読みとることができます。

## 仕様

■ 入力定格 (AC)		■ 入力電源 (AC)	
動作電圧*1	14~280Vrms 20~400Vpeak	電圧範囲 (公称値)*19	1: 90~110(100)Vrms 2: 108~132(120)Vrms 3: 180~220(200)Vrms 4: 216~250(240)Vrms
最大電流*2	10Arms 40Apeak	周波数	50/60Hz
最大電力*3	1000W	消費電力 (皮相電力)	約200VA
周波数	45~65Hz	■ 耐電圧	
最小動作開始電圧*4	3Vpeak	1次ケース	AC1500V、1分間
■ 定電流 (C.C) モード*5		1次-負荷入力端子	AC1500V、1分間
設定範囲	0~10Arms	負荷入力端子ケース	AC500V、1分間
設定精度*9	±(1%+0.1A)以内	■ 絶縁抵抗	
設定分解能	10mArms	1次ケース	DC1000V、20MΩ以上
安定度	ライン変動*10: ±10mArms以内 入力電圧変動*11: ±100mArms以内	1次-負荷入力端子	DC1000V、20MΩ以上
温度係数 (定格電流において)	200PPM/°C (標準値)	負荷入力端子ケース	DC1000V、20MΩ以上
■ 定抵抗 (C.R) モード*6		■ 温湿度範囲	
設定範囲	Hレンジ (10Vでフル電流): 1~1kΩ 1~1mS*20 Lレンジ (100Vでフル電流): 10~10kΩ 0.1~0.1mS*20	動作温度範囲	0~40°C
設定分解能	Hレンジ: 1mS*20 Lレンジ: 0.1mS*20	動作湿度範囲	30~80%RH (非結露)
設定精度 (電流換算)*9、12	±(2%+0.2A)以内	保存温度範囲	-10~50°C
安定度 入力電圧変動*13	±10%以内	保存湿度範囲	20~90%RH (非結露)
■ 定電力 (C.P) モード*7		■ 外形寸法 (筐体部)	430W×400D×128Hmm
設定範囲	100~1000W	■ 質量	約22kg
設定精度*9、14	±5%以内	*1 定格入力電流が流せる入力電圧範囲	
設定分解能	1W	*2 入力電圧100Vrms以上は定格入力電力 (1000W) でディレーティング	
入力電圧変動*15	±5%以内	*3 入力電圧100Vrms以下は定格入力電流 (10Arms) で制限	
■ クレストファクタ (C.F) 機能*8		*4 入力電流が流れ始める最小入力電圧	
設定範囲	1.4~4.0	*5 入力電流波形は入力電圧波形によって変化しない 入力電流の実効値を一定に保つ (応答速度 約1s) (応答速度: 定常値 (状態変化から5s以上後の値) の±10%以内に入る時間)	
分解能	0.1	*6 入力電流波形は入力電圧波形によって変化しない 入力電圧の実効値に比例した入力電流 (実効値) を流す (応答速度 約1s)	
■ 電流計 (RMS表示モード)		*7 入力電流波形は入力電圧波形によって変化しない 入力電圧の実効値に反比例した入力電流 (実効値) を流す (応答速度 約1s)	
表示桁 (フルスケール)	10.00Arms	*8 正弦波電流波形を基準として、入力電圧ピーク付近の電流導通角を可変	
精度*9	±1% of FS以内	*9 常温 (23±5°C) において	
■ 電流計 (PEAK表示モード)		*10 入力電圧100Vrms、入力電流10Armsにおいて、入力電源電圧の公称値を基準として定格電圧範囲の変動を与えた時の入力電流変化	
表示桁 (フルスケール)	40.0Apeak	*11 入力電流3.57Arms (入力電圧280Vrms時定格) において、入力電圧を10~280Vrmsまで変化させた時の入力電流変化	
精度*9	±2% of FS以内	*12 入力電圧100Vrmsにおいて	
■ 電圧計		*13 入力電圧を10~100Vrmsまで変化させた時の抵抗値の変化、入力電流0.5A以上の時	
表示桁 (フルスケール)	300.0Vrms	*14 入力電圧100Vrmsにおいて	
精度*9	±1% of FS以内	*15 入力電圧を10~100Vrmsまで変化させた時の電力値の変化	
■ 保護機能		*16 20ms以内に[LOAD]キーをOFF	
ピーク過電流保護 (POCP)*16	約48Apeak	*17 3s以内に[LOAD]キーをOFF	
過電流保護 (OCP)*17	約11.5Arms	*18 内部ヒートシンク表面温度を検出し[LOAD]キーをOFF	
過電圧保護 (OVP)*16	約470Vpeak	*19 切り換え	
過電力保護 (OPP)*17	約1150W	*20 Sはコンダクタンスの単位 (ジーメンズ) コンダクタンス [S] = 1 / 抵抗値 [Ω] コンダクタンス [S] × 入力電圧 [V] = 負荷電流 [A]	
過熱保護 (OHP)*18	—		
内部電力素子保護	内部ヒューズ遮断		